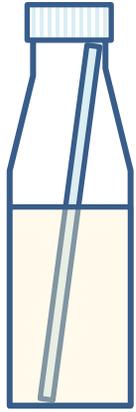


植物プランクトン 珪藻培養図解

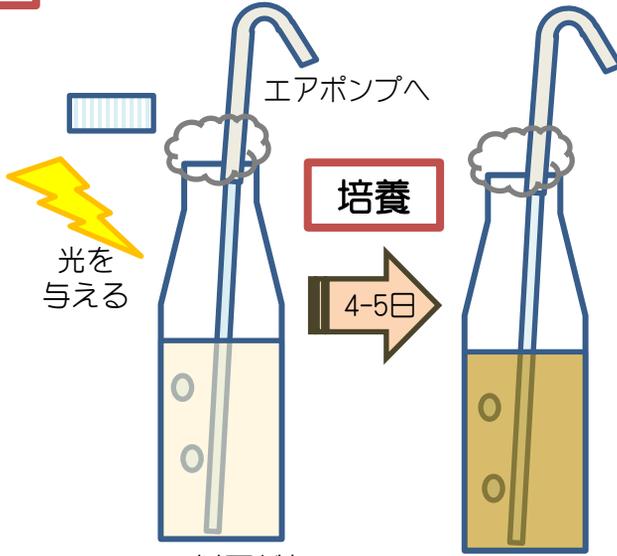
届いたとき



ガラス管をチューブで
エアポンプに繋ぎ、紙
タオルなどで蓋をする

珪藻が増えると
ほうじ茶のよう
な色になる

植え継ぎ



5mLを次に植え、
残りは餌として
使用

光を
与える

培養

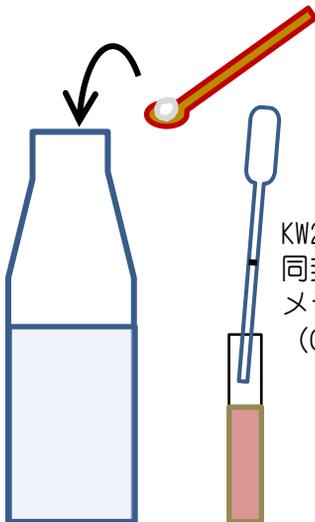
4-5日

10℃以下だと
増えない

新しい培地の準備

メタケイ酸ナトリウム
耳かき一杯分

前の培地から
5mLを植え継ぎ、
新たな培養開始



80℃
20分間
滅菌

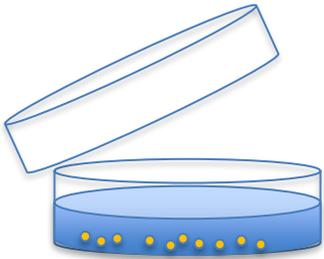
沸騰すると海水
の成分が変質し
てしまうので
80℃で



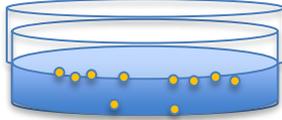
人工海水300mL

ガラス管の代わりに
ストローも使える

動物プランクトン ウニ幼生飼育図解

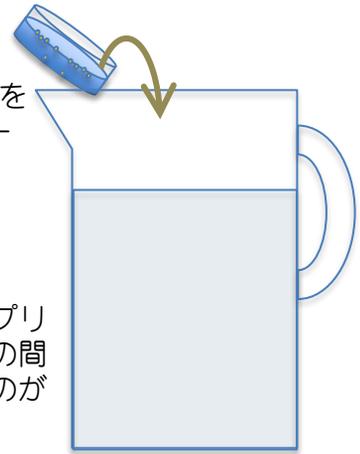


底一層に卵を入れた状態のシャーレで受精を行った場合、そこから発生した胚がちょうど3Lビーカー1つぶんくらい

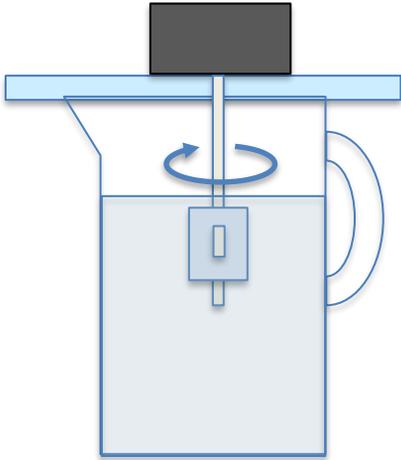


孵化した胞胚は水面に集まり、発生が上手く行かなかった卵はシャーレの底に残る

上澄みだけを3Lビーカーに移す



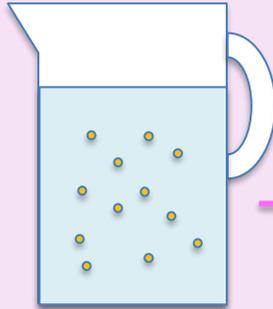
原腸胚からプリズム期までの間に移動するのがおススメ



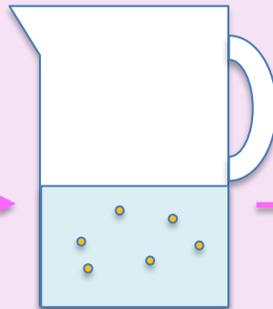
飼育装置で飼育
餌やりは2日に1回
珪藻を20 mL

水替え2パターン

水替えは基本的には週一回



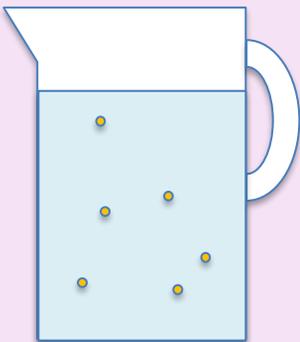
高い密度で飼い始めた場合…



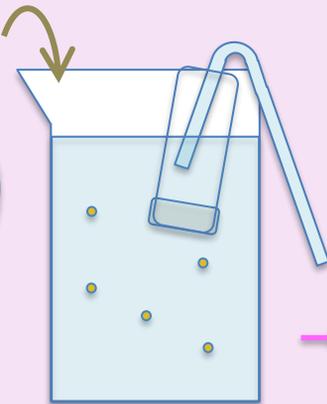
中身を半分捨てる



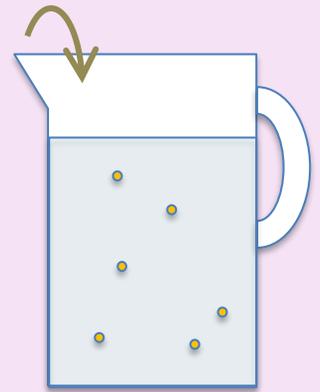
新しい海水を足して水替え完了



普通の密度の場合
マニュアル4ページのように水替え



全体を水替え用のビーカーに移し、メッシュ付きボトルを使って海水を捨てる



きれいに洗った元のビーカーに幼生を戻し、捨てた分と同じ量の新しい海水を足す